

大会名称: **東日本大震災復興支援  
第9回全日本社会人バスケットボール選手権大会**

開催場所: **広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ) Bコート**

試合区分: **No. 27 女子 3位決定戦**

期 日: **2013(H25)年11月4日(月)**

主審: **芳賀 聡**

開始時間: **12:50**

副審: **堀江 友希、皆川 義紀**

鶴屋百貨店		○ 64					● 56					ストレッチ				
(実業団3)												(クラブ1)				
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	
4	*	伊藤 恵夢	6	0	2	2	2	0	*	永田 睦子	3	0	1	1	2	
5		内田 結日	-	-	-	-	-	3	*	小磯 典子	21	0	9	3	1	
6	*	田中 愛己	18	4	2	2	3	4		武藤 里衣子	0	0	0	0	1	
7	*	坂田 奈菜実	18	1	6	3	3	5		松山 奈美子	-	-	-	-	-	
8	*	守田 佳代	6	0	3	0	1	6	*	松本 有万	2	0	1	0	1	
9		小林 亜里奈	-	-	-	-	-	7	*	林田 明佳	4	0	2	0	0	
10		瀬井 香織	-	-	-	-	-	8	*	花田 有衣	12	0	5	2	2	
11		濱本 愛梨	4	1	0	1	2	9		森田 絵梨	-	-	-	-	-	
12	*	米村 知紗	12	0	5	2	1	10		大倉 悦子	4	0	2	0	2	
13		野尻 絢那	0	0	0	0	0	11		兼頭 沙樹那	-	-	-	-	-	
14		村木 花奈	-	-	-	-	-	12		下田 弥生	2	0	1	0	0	
15		後藤 夏実	-	-	-	-	-	13		鷺尾 真優美	0	0	0	0	0	
16		蓑田 小百合	-	-	-	-	-	14		菊川 仁美	2	0	1	0	0	
								16		坪田 朋子	-	-	-	-	-	
								17		深江 真美子	-	-	-	-	-	
								18		石丸 実佳	-	-	-	-	-	
								20		松木 結香	6	1	0	3	2	
コーチ 鹿毛 美智子 / TEAM								コーチ 太田京子 / TEAM								
合計			64	6	18	10	12	合計			56	1	22	9	11	

S: スターター      PTS: ポイント      3P: 3ポイントシュート      2P: 2ポイントシュート      FT: フリースロー      F: ファール

第1ピリオド: 両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。鶴屋百貨店は速攻からの連続得点で先制。ストレッチはコートを大きく使い、ドライブインやポストアップでオフェンスを組み立てるが、鶴屋百貨店のプレッシャーディフェンスに攻めあぐむ。ストレッチ#20松木のドライブインをきっかけにリズムに乗り点差を縮めるが、鶴屋百貨店優勢のまま、ストレッチ12-18鶴屋百貨店で第1ピリオド終了。

第2ピリオド: ストレッチは序盤から#3小磯にボールを集め、ゴール下を徹底的に責め立て、早い段階で逆転する。ストレッチは、ゾーンディフェンスに切り替え、一気に流れを引き寄せにいくが、鶴屋百貨店はゲームコントロールから確率の高いプレイで加点し、簡単に流れを掴ませない。ストレッチのゾーンディフェンスに対してマンツーマンのプレッシャーを強めた鶴屋百貨店は、相手のミスを誘い再逆転。さらに#6田中の3Pや#8守田のミドルシュートでリードを広げ、5点差で前半を終える。

第3ピリオド: 両チームともにハーフコートマンツーマンで試合が始まる。鶴屋百貨店が#6田中を中心にアウトサイドで攻めるのに対し、ストレッチはゴール下にボールを集める。一進一退の攻防の中、ストレッチ#3小磯のバスケットボールカウントと#7林田のゴール下で再度逆転するも、鶴屋百貨店#7坂田の活躍とともに展開を早めリードを奪い返す。鶴屋百貨店51-45ストレッチで最終ピリオドへ。

第4ピリオド: 最終ピリオドになってもスピードが落ちず、激しいディフェンスからの速攻で加点し続ける鶴屋百貨店に対し、ストレッチは足が止まり始め、思うようなオフェンスを展開が出来ず、得点が伸びない。ストレッチは#0永田、#3小磯を中心に加点し追いつがるが、鶴屋百貨店のアウトサイドシュートが入り始め、追撃を許さない。最初から最後まで足を使った粘り強いディフェンスで守りきった鶴屋百貨店が64-56で勝利した。